

# ドライブシミュレータ評価前の慣らし運転についての検討

桔梗ヶ原病院

松塚翔司

【抄録】(明朝／12P／太字)

【背景】当院では、2018 年より Honda セーフティナビ（以下、DS）を用いた運転支援を行っている。DS を用いた運転適性の評価を行う際に、DS の施行回数により評価結果が異なることを経験し、背景に機器操作の不慣れさや実際の車と運転感覚が異なることがあるものと考えた。

【目的】運転適性の評価に際し、DS による慣らし運転（評価前の練習）を何回行うことが望ましいかについて検討した。

【対象者】過去に DS を実施したことがない健常者 20 名（男性 14 名、女性 6 名、平均年齢  $29.4 \pm 4.1$ ）を対象とした。

【方法】対象者に DS の運転反応検査（単純反応、選択反応、ハンドル操作、注意配分・複数作業）を 1 週間の間に 4 回実施した。得られた評価結果（5 段階評価）について全項目と下位項目に分けて検討し、下位項目について施行回数による変化（1～2 回目、2～3 回目、3～4 回目）を算出した。

【結果】全項目については①中央値が C（1 回目）→B（2 回目）→B（3 回目）→B（4 回目）、②DE の数は  $3.1 \rightarrow 1.8 \rightarrow 1.0 \rightarrow 0.8$  であった。下位項目については、1～2 回目は 9 項目、2～3 回目は 5 項目、3～4 回目は 2 項目の改善を認めた。

【結語】全項目、下位項目ともに、DS 実施 2 回目での改善が顕著であった。以上より、DS を用いた運転適性の評価を行う際に、事前の慣らし運転を 1 回施行することが望ましいものと考えた。